

# 福井県立鯖江青年の家(1/2)

## 人と出会い、 自然とふれあえる、 里山の宿泊研修施設です！

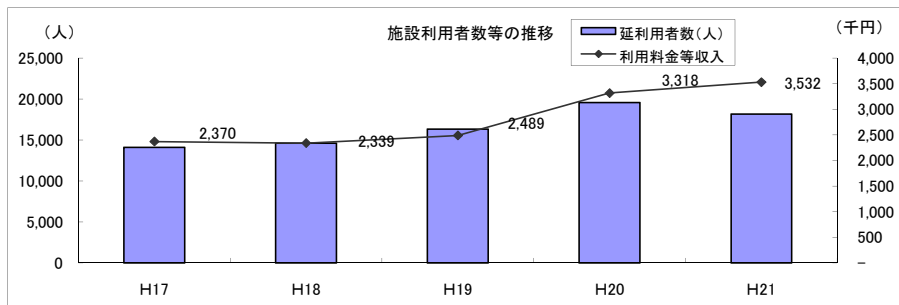
所在地	鯖江市上野田町19-1		
設置年月日	昭和48年2月1日		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、延4,151.61㎡、宿泊室(120名)、研修室(120名)、多目的ホール(60名)		
職員数	職員5名		

### 利用状況等

	H17	H18	H19	H20	H21
延利用者数(人)	14,101	14,601	16,309	19,582	18,176

### 利用者負担(使用料金)等

使用料	26歳以上	880円
	26歳未満	530円
	高校・大学生	390円
	小・中学生	270円



利用状況の推移	<p>完全学校週5日制の徹底と学校行事の見直し・精選により減少傾向にあった利用者は、平成16年度には14,000人余まで減少しました。</p> <p>しかし、魅力ある主催事業の取組みの結果、その後わずかずつですが増加に転じ、平成21年度は前年度の19,000人台には届かないまでも18,000人台と大幅に増加しています。</p>
---------	--

### 施設の特徴

自然豊かな里地、里山に囲まれた社会教育施設です。

- ・上岡山の自然を活かしたウオークラリー等、地域に根ざした学習環境づくりを推進しています。
- ・丹南地域のほか、県内外の各学校やスポーツ少年団等に利用されています。
- ・また、大学生を中心としたボランティアリーダーの育成の場としても活用されています。

花とクラフトのつどい



My米プロジェクト  
田植え編



真夏の夜の  
昆虫観察会



長期宿泊体験  
日野山登山



### 鯖江青年の家ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabae-seinen/index.html>

### 平成21年度の特徴について

事業実績	<p>自然豊かな立地条件を活かしたプログラムを主に、花とクラフト、My米プロジェクト(田植え、稲刈り、餅つき)、星空にアプローチ、真夏の夜の昆虫観察会、バードウォッチング、墨絵体験、きのこ栽培教室、篠笛作りと演奏等の教室を実施しました。 【延参加者数: 860名】</p> <p>県内の小学生から中学生を対象に、夏休みを利用して宿泊しながら様々な体験活動を行い、思いやりや自主性を養うことを目的とした長期宿泊体験事業を実施しました。 【延参加者数: 35名】</p> <p>利用者の利便性の向上を図るため、上岡山の樹木整理、散策路整備を行い、気軽に安全でより歩きやすい環境整備を行ったほか、食堂での主催事業の写真の掲示やホームページで事業結果や行事計画等の案内等を随時更新して活動内容の周知を図るなど広報活動に積極的に取り組みました。</p>
------	---

# 鯖江青年の家(2/2)

## 行政コスト計算書(平成21年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	49,490	66.1%	94.0%
	退職給与引当金繰入	▲ 4,012	-5.4%	-7294.5%
	賞与引当金繰入額	2,016	2.7%	79.2%
計		45,478	60.7%	82.3%
物にかかるコスト	物件費	16,925	22.6%	88.0%
	維持補修費	4,118	5.5%	243.7%
	減価償却費	8,325	11.1%	100.0%
計		29,368	39.2%	100.4%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	0.0%
	その他	5	0.0%	100.0%
	計	5	0.0%	3.4%
合計		74,851	100.0%	88.4%
収入	利用料等収入	3,539	4.7%	106.4%
	一般財源	71,312	95.3%	87.7%

## バランスシート(平成22年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	336,813	97.6%	固定負債	31,148	88.6%
うち土地	69,000	100.0%	うち退職手当引当金	31,148	88.6%
うち建物	267,813	97.4%			
投資等	0	—	流動負債	2,016	28.2%
流動資産	0	—	正味資産	303,649	100.3%
計	336,813	97.6%	計	336,813	97.6%

## 主な指標 (単位: %, 円/人)

	H21	H20	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	416	425	97.9%
県民1人あたり将来負担額	38	43	88.9%
世代間負担率	90.2	87.7	103.1%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>行政コストは、維持補修費で大規模修繕ではないものの庁舎修繕等で修繕が増加しましたが、物件費の減少により全体として前年並みのコストとなっています。</p> <p>資産は、建物が約80%、土地が約20%を占め、建物の減価償却分だけ毎年減少しています。</p> <p>将来の財政負担要因となる負債は、退職手当引当金のみで、県民1人あたり将来負担額も低い水準になっています。</p> <p>利用料金等収入は、施設利用者数が前年度比7.2%減少しましたが、宿泊利用料収入が増加し、前年度比6.4%の増加となっています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>施設の維持管理や主催事業の実施 (主催事業は職員の日常業務として実施) 【平成22予算額:2.1百万円】</p>
今後の課題	<p>100人超規模の研修事業の検討および冬期間の利用者の増加を図り、年間を通じた利用者の増加を目指す取組みが必要です。</p> <p>そのためには、職員の資質向上を図るとともに、地域や専門の知識を持った方などの協力を得て、事業内容を充実していかなければなりません。</p>
今後の事業方針取組み内容	<p>「鯖江青年の家」の立地条件を生かした青少年の体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の豊かな自然に親しみ、自然環境保護の意識を高める野外プログラムの工夫と充実を行う。</li> <li>・地域に愛され、地域からの積極的な協力が得られるよう地域との連携を深める。</li> <li>・利用者が満足した活動ができるよう十分な事前打合せと利用団体へのアンケートを実施し、より快適で利便性の高い施設運営に取り組む。</li> <li>・ホームページ、情報誌の充実をはかり情報発信に取り組む。</li> </ul>

